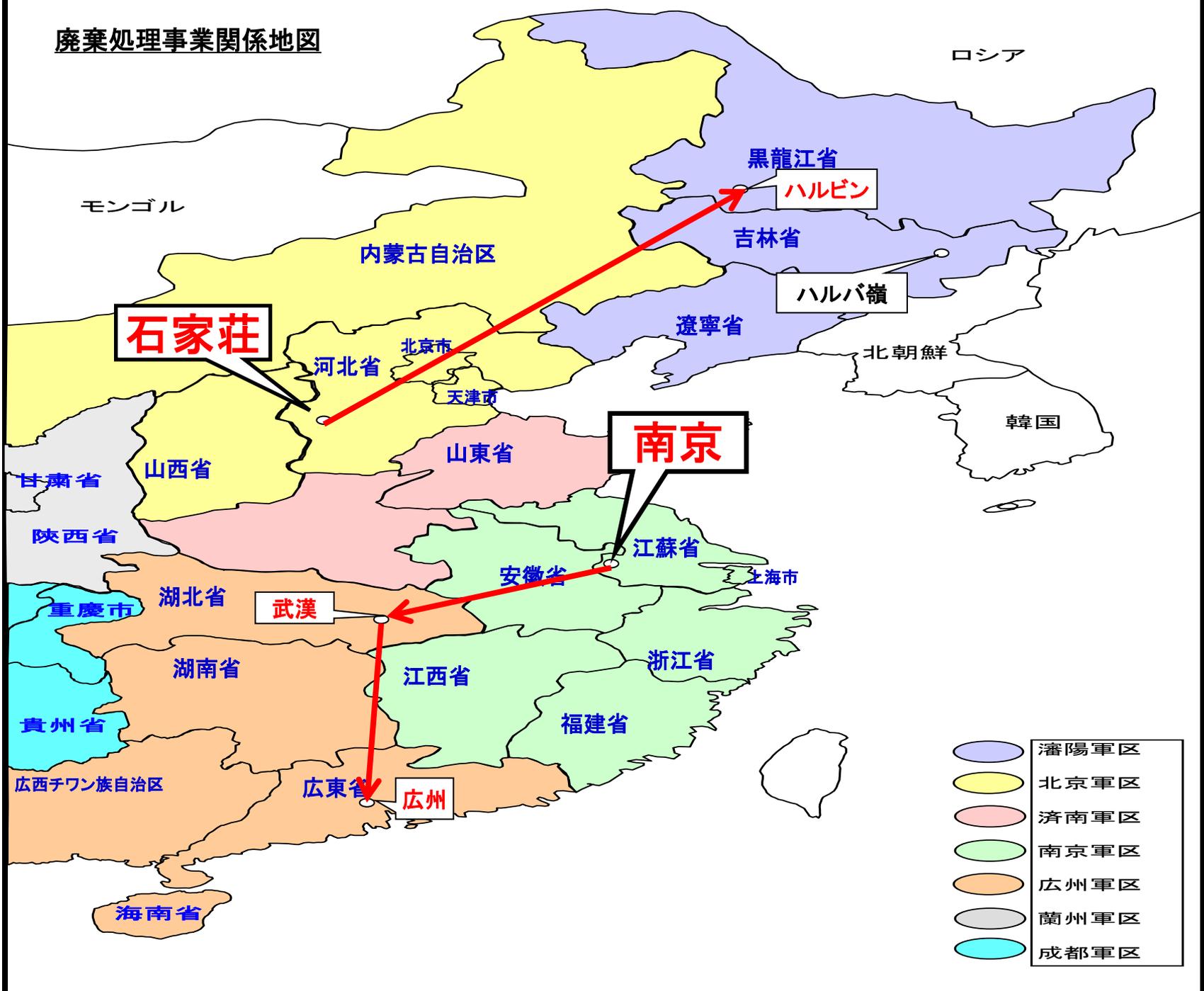


移動式廃棄処理事業について



平成24年10月11日(木)
第10回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

廃棄処理事業関係地図

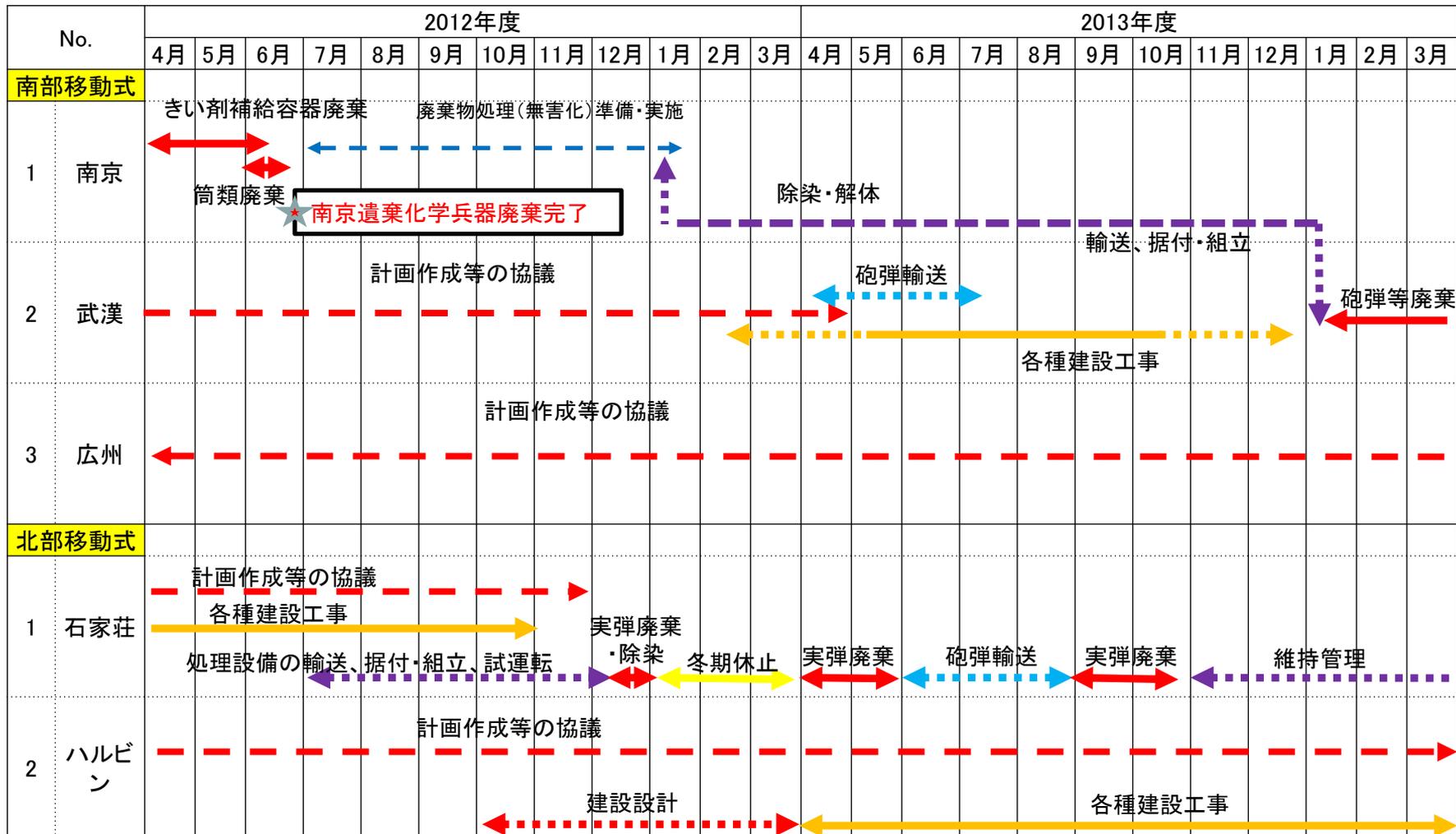


- 瀋陽軍区
- 北京軍区
- 済南軍区
- 南京軍区
- 広州軍区
- 蘭州軍区
- 成都軍区

2012～2013年度 移動式処理事業の計画



(現在中国側との調整中の事項等が含まれており、今後変更・修正の可能性があります。)



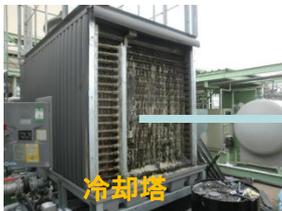
南京移動式処理事業について

1. 概要

南京市及びその周辺地域において発掘・回収された旧日本軍の遺棄化学兵器（約36,000発）に
関し、日中両政府は、双方の現場代表者による指揮の下、作業団を編成し、南京市において移
動式処理設備を用いて廃棄処理を平成22年10月に開始し、平成24年6月に無事完了した。

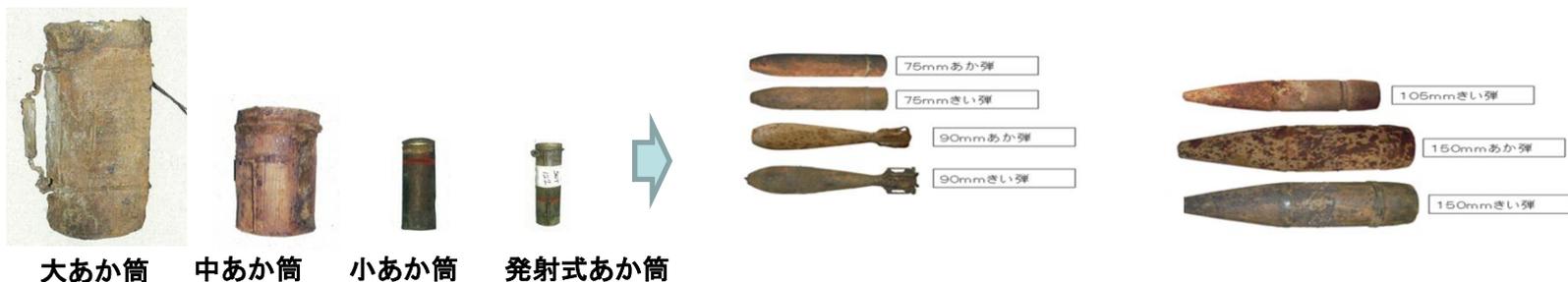
2. 経緯及び主な動き

- ・平成19年4月、日中首脳会談で移動式処理設備による廃棄作業の実施合意。
- ・平成22年10月、廃棄開始。
- ・平成22年秋、中国製爆薬・雷管で不完爆が発生。
→（爆薬・雷管の付け方や爆破チャンバー内における爆破対象物の
設置方法を工夫し、問題を解決。）
- ・平成23年1月設備の一部（冷却塔等）のパイプの凍結
→（水抜き等凍結防止対策を講じる。）

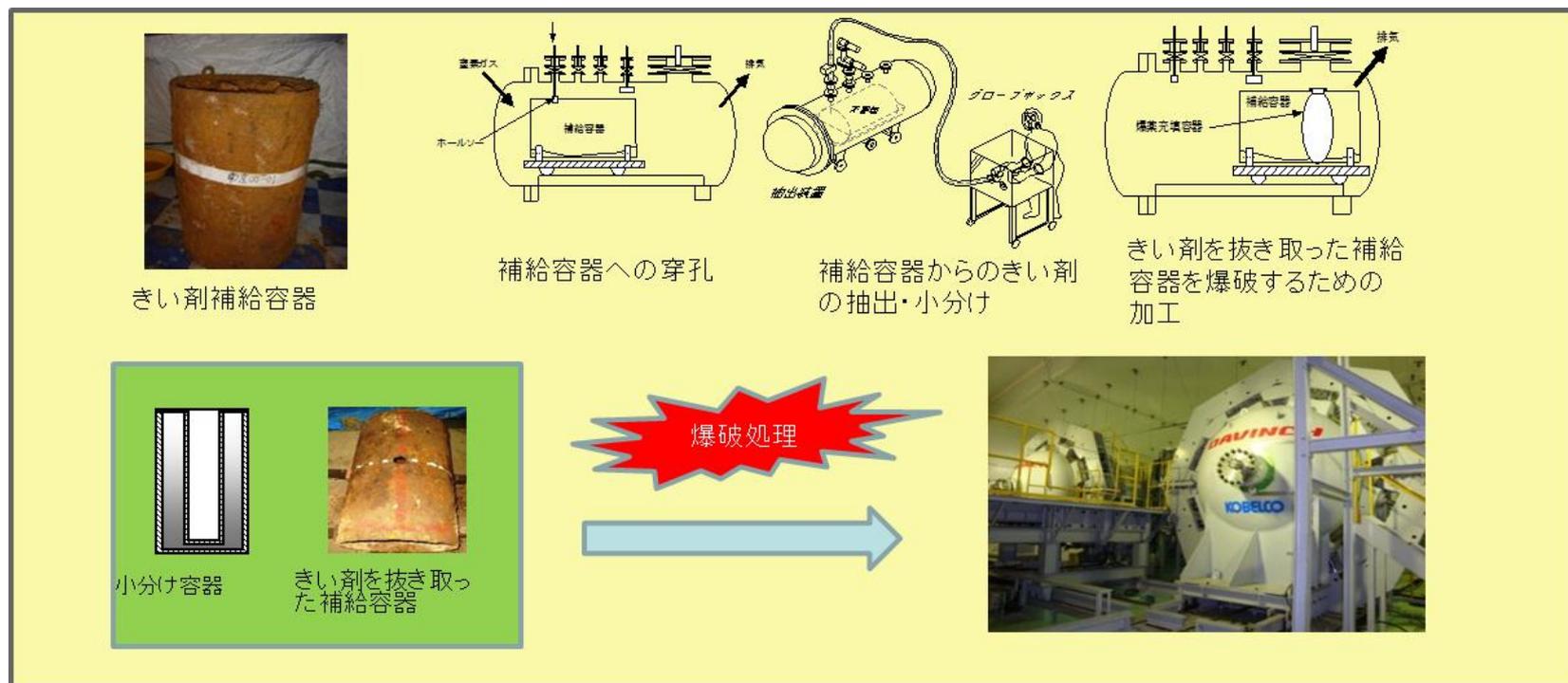


- ・平成23年11月下旬～12月下旬に砲弾輸送を実施（蚌埠、合肥、安慶及び杭州から南京へ）。

- ・平成24年2月 砲弾の廃棄開始・終了（それ以前は、主にあか筒等有毒発煙筒を廃棄。）



- ・平成24年4月～6月 きい剤補給容器の廃棄（ヒール化した化学剤への対応として、小分け前に溶剤を注入して対処。）



- ・平成24年6月 遺棄化学兵器廃棄完了。

3. 主な訪問実績

- ・ 廃棄処理開始宣言（平成22年9月1日、平岡秀夫副大臣。張志軍・中国外交部副部長及びクリストフ・パトレイ化学兵器禁止機関（OPCW）特別プロジェクト室長等出席。）



開始行事会場



平岡副大臣挨拶

- ・ ウズムジュOPCW事務局長の南京訪問（平成22年11月）。
- ・ OPCWによる査察（第1回平成22年12月、第2回平成23年2月、第3回平成23年6月、第4回平成23年8月、第5回平成24年5月、第6回平成24年6月（最終査察）。）
- ・ 平成24年1月6日、石田勝之副大臣の南京訪問（現地状況確認）。



全体状況の把握



設備の確認

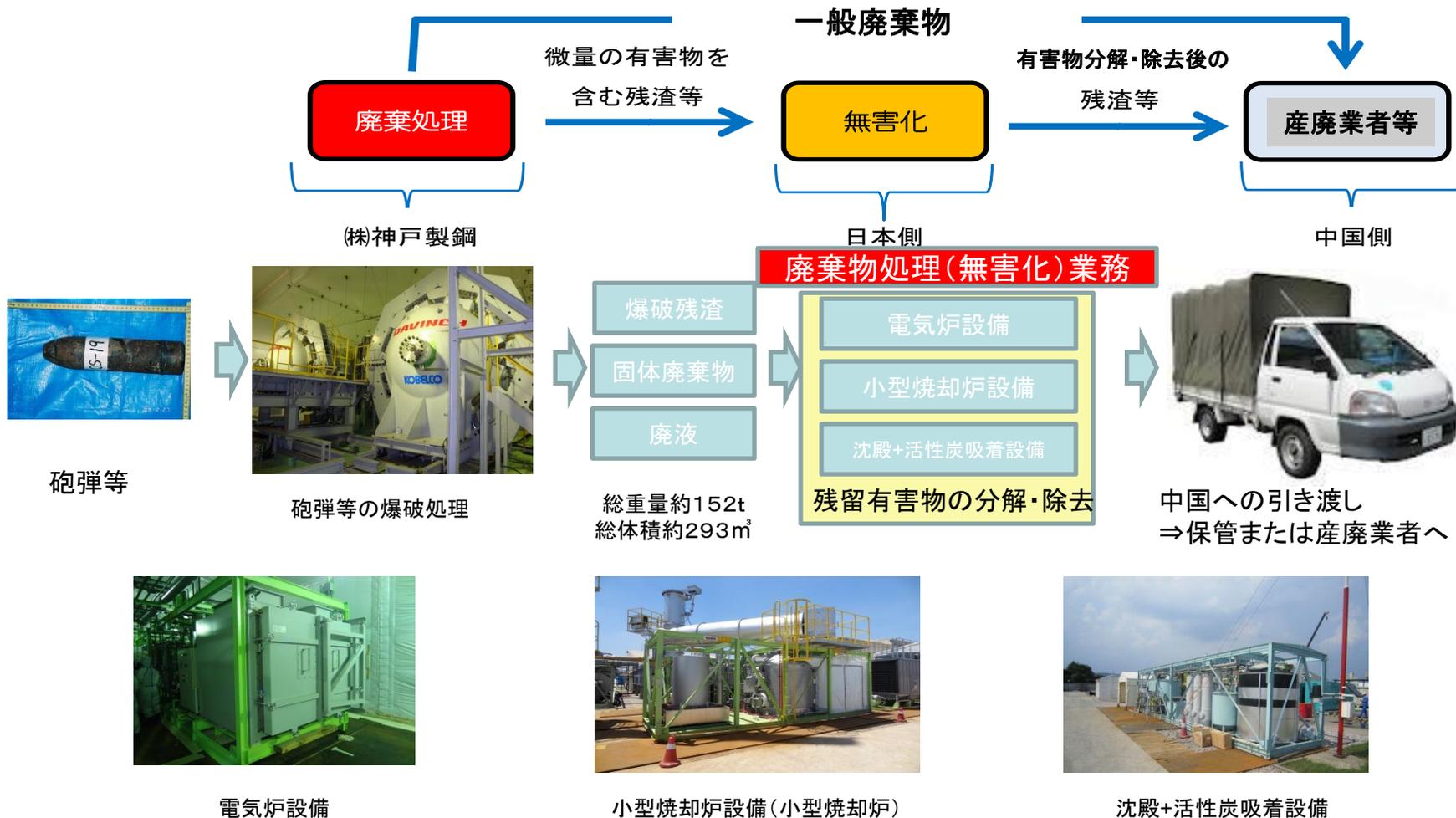


汚染管理区域の確認

4. 今後の見通し

- ・ 中国側と調整の上、廃棄物の処理（無害化）を実施。
- ・ 廃棄物の処理後、爆破チャンバー等廃棄処理設備を除染・解体して、武漢へ輸送。

南京移動式処理事業における 「廃棄物処理(無害化)」について



(注)発掘回収時の汚染物等、本件無害化業務の対象とならない廃棄物(難燃物等)及び引き取る産廃業者の決まらない廃棄物(ヒ素廃棄物等)に関しては、南京保管庫に保管しつつ、今後の処置について引き続き検討、中国側と協議。

中国南部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について(武漢)

【第2処理場(武漢)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

7月24日～26日に南京にて、南京から武漢へ輸送する設備・備品のリストについての協議及び現地調査を行った。

○工事等について

・中国側と予算について協議中。

【今後の見通し】

○南京から武漢へ輸送する設備・備品を確定し、経費について調整を行う。

○工事関係予算の確定後、各種工事を実施。

○南京での廃棄物処理終了後、設備を武漢に輸送。

中国南部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について(広州)

【第3処理場候補地(広州)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

5月24日に武漢にて、処理対象物、廃棄処理プロセスにおけるリスク因子の分析暫定評価等について協議を行い、概ね同意した。

【今後の見通し】

広州候補地の土地利用料等について調整し、予定地を確定。



広州候補地



広州保管庫

中国北部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について

【第1処理場(石家荘)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

8月22及び23日に石家荘にて、各種計画について協議を行った。

- 準備工事関連: アクセス道路が6月に完成し、残りの準備工事についても10月下旬に完成予定。
- 各種計画関連: 処理運転における運用計画、教育訓練実施計画等について、概ね合意。



処理場場内準備工事状況(9月時点)

【今後の見通し】

石家荘については、本年12月に廃棄処理を開始する予定。

中国北部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について

【第1処理場(石家荘)進捗状況】



事務所棟工事状況



テント工事状況



チャンバー据付組立状況



モジュール据付組立状況

中国北部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について

【第2処理場(ハルビン)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

5月15日にハルビンにて、主に施設配置計画、工事基本計画等について協議を行い、専門家間の合意を得た。



第2処理場予定地状況

【今後の見通し】

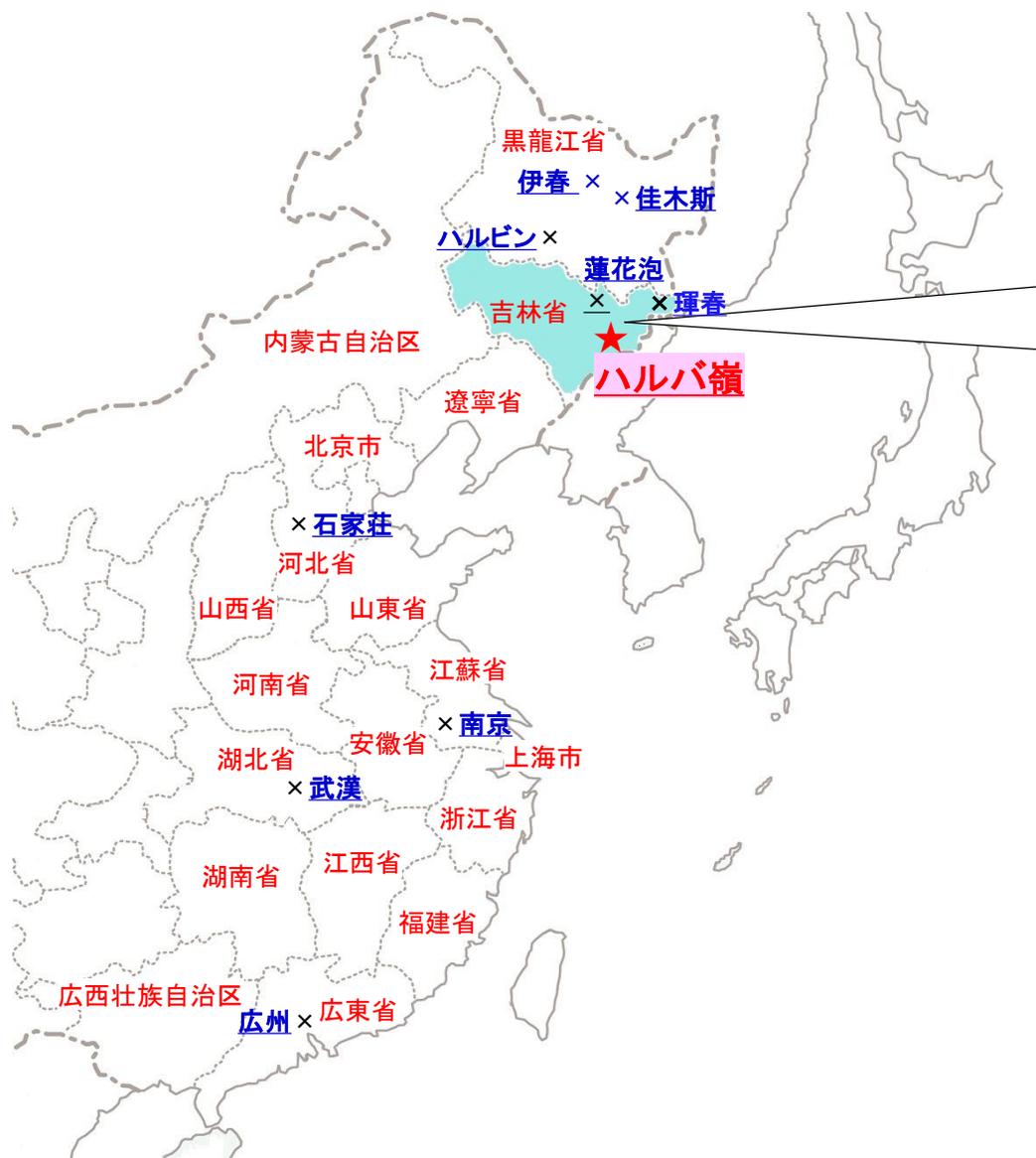
ハルビンについては、引き続き各種計画類の準備を進めるほか、アクセス道路や設備収納庫を含む場内の設計についても中国側と協議を実施する。

ハルバ嶺での事業について



平成24年10月11日(木)
第10回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

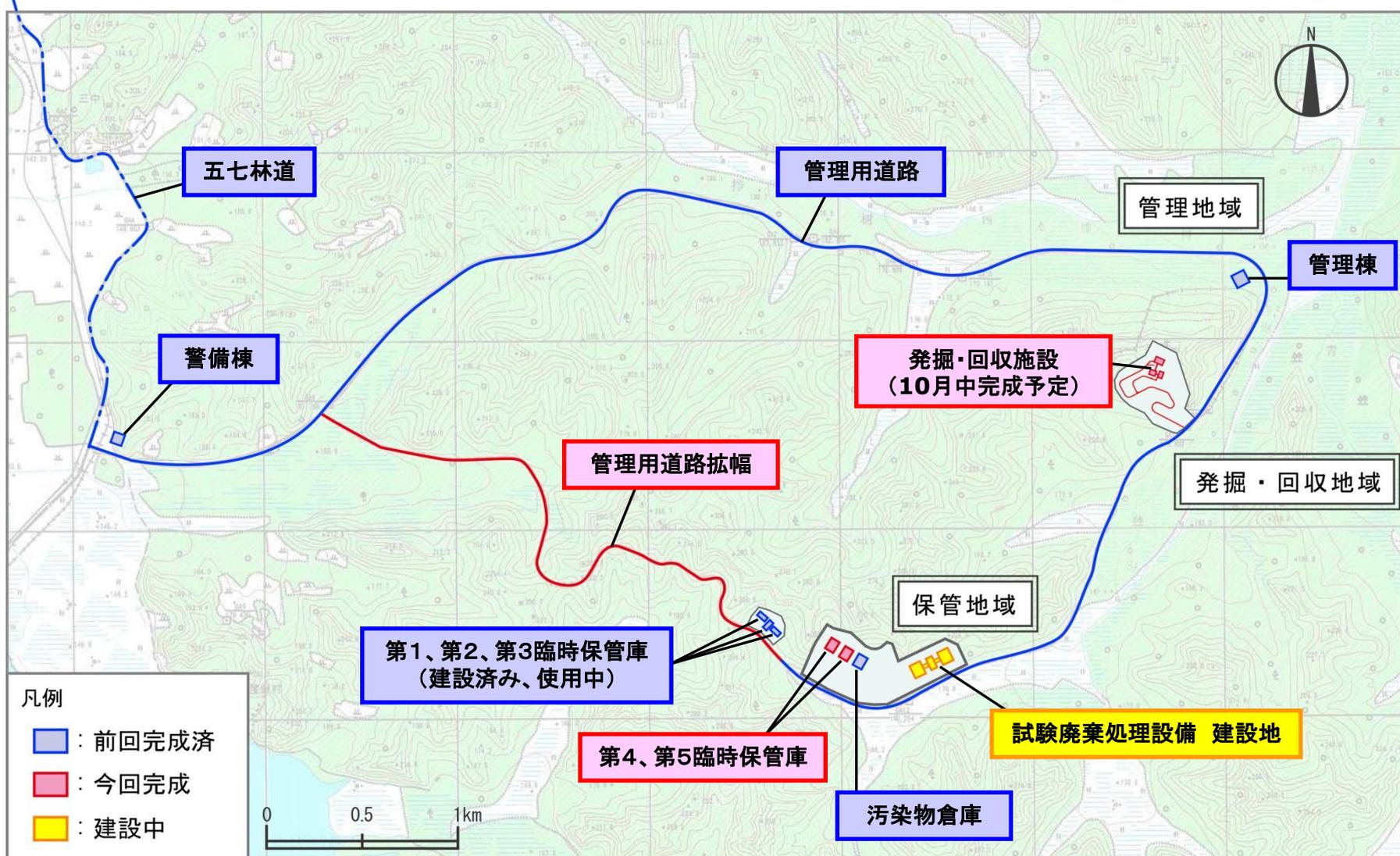
平成24年度における遺棄化学兵器処理主要事業



○ハルバ嶺地区における砲弾埋設数は、
平成14年（2002）探査の結果、
推定30～40万発。

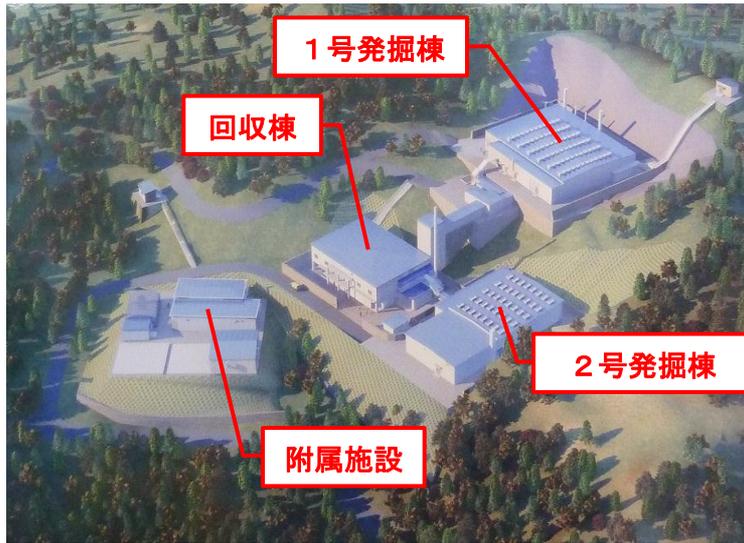
ハルバ嶺事業関連施設 配置図

至 大石頭鎮



完成予定の施設（発掘・回収関連）

発掘・回収施設イメージ図



1号発掘棟建設状況(H24.9月)



2号発掘棟建設状況(H24.9月)



回収棟建設状況(H24.9月)



付属施設建設状況(H24.9月)



1号坑:上面11m×24m×高さ4m。体積497m³

2号坑:上面10m×20m×高さ2.5~3.5m。体積247m³

完成済の施設

汚染物倉庫 (H24.7月)



第4・第5臨時保管庫 (H24.7月)



警備棟 (H23.9月)



管理棟 (H23.11月)



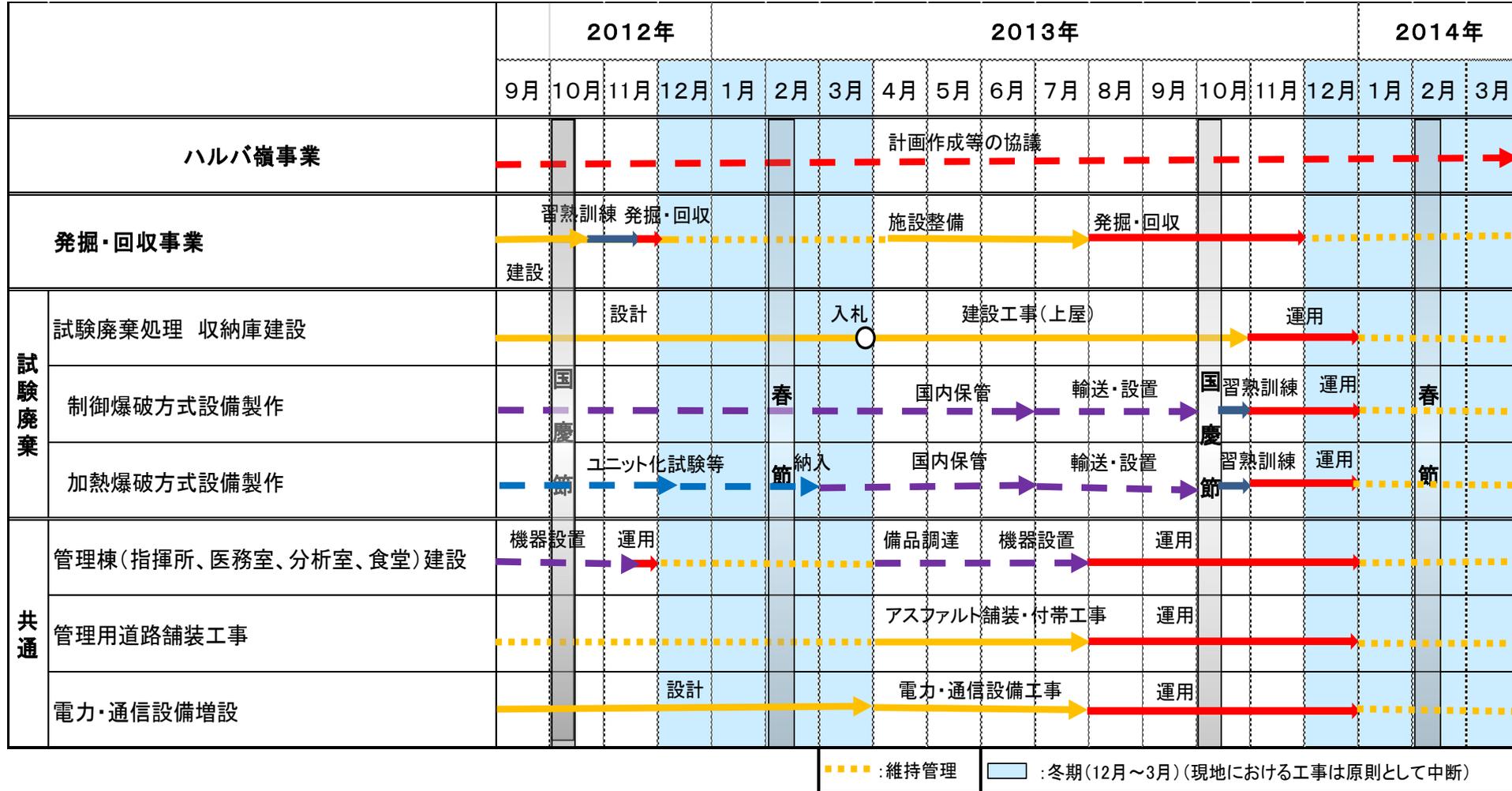
管理用道路拡幅 (H24.7月)



ハルバ嶺事業 進捗状況及び今後のスケジュール(予定)

(現在中国側との調整中の事項等が含まれており、今後変更・修正の可能性があります。)

↓ 現在



ハルバ嶺に導入する遺棄化学兵器試験廃棄処理施設の進捗

【試験廃棄処理場進捗状況】

- ・ 試験廃棄処理設備収納庫（基礎）工事完了。
- ・ 試験廃棄処理設備収納庫（上屋）設計図作成中。

【試験廃棄処理設備製作状況】

【制御爆破方式】 現在国内倉庫に保管中。収納庫建設の進捗状況に合わせて輸送。

【加熱爆破方式】 11月上旬までユニット化作動試験中。

11月下旬から12月上旬まで総合作動試験の予定。



設備収納庫(基礎)工事完了

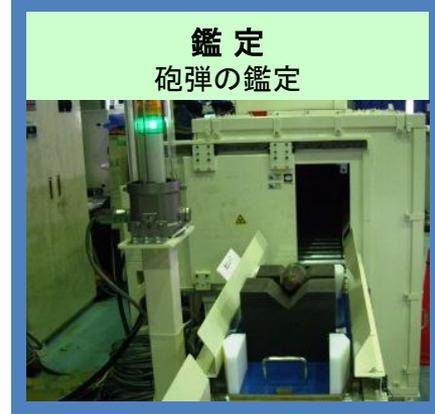
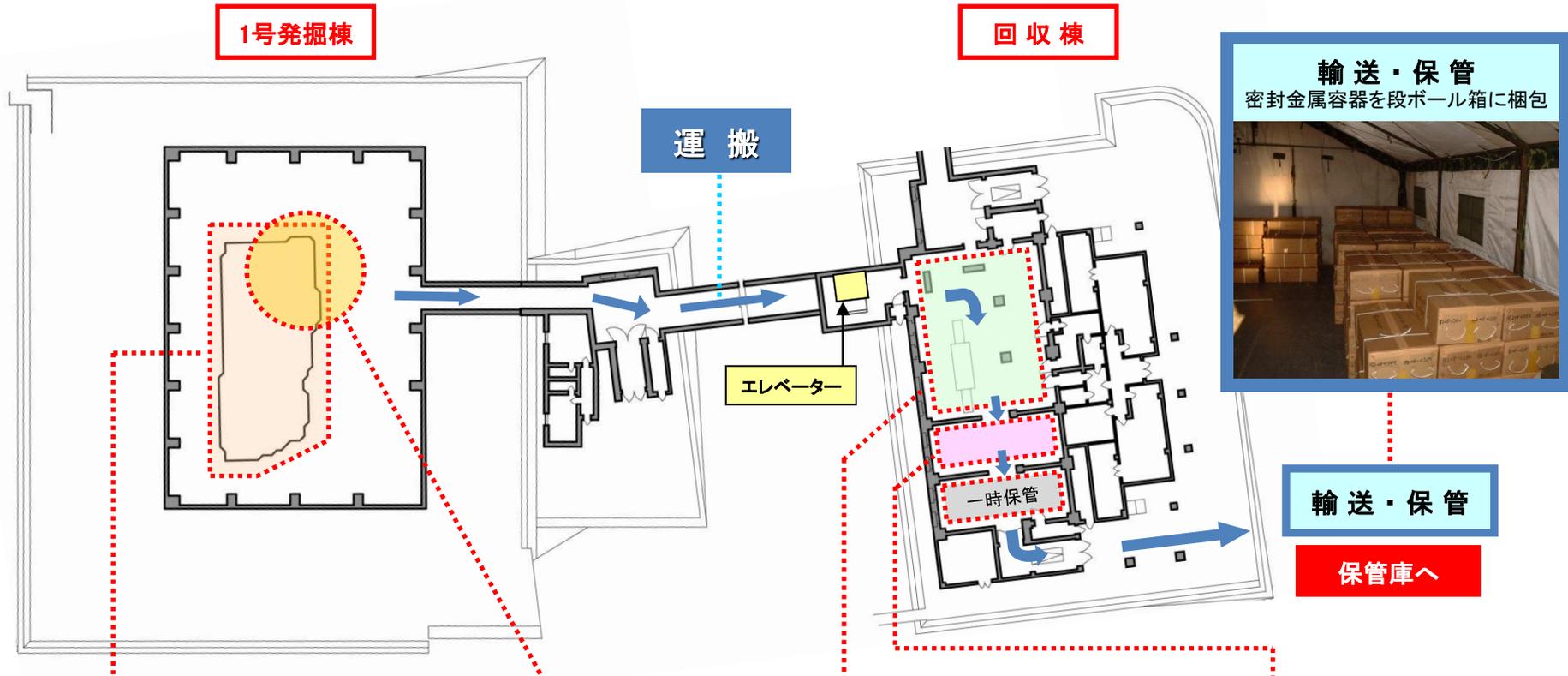


制御爆破処理設備国内倉庫に保管中



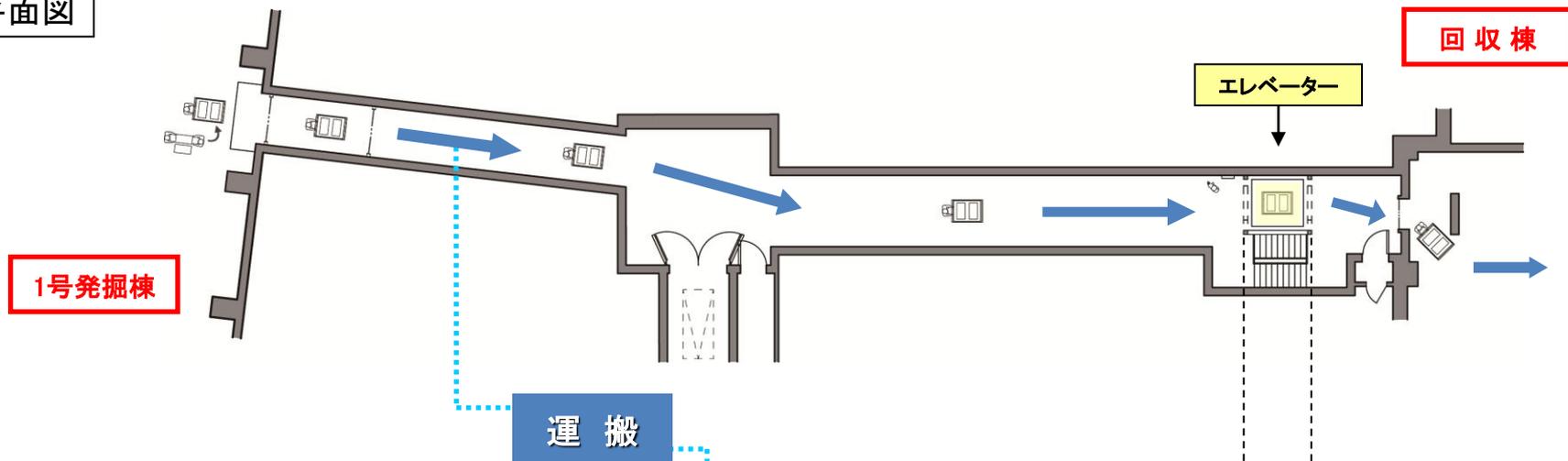
加熱爆破処理設備ユニット化作動試験中

ハルバ嶺発掘・回収事業における発掘・回収作業の流れ-1

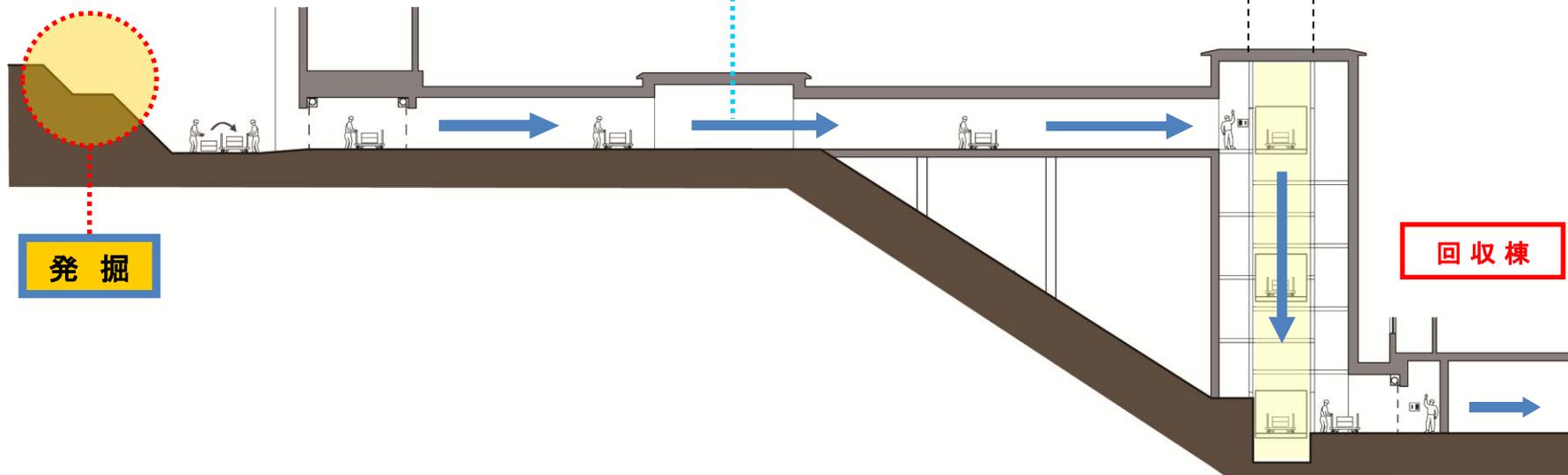


ハルバ嶺発掘・回収事業における発掘・回収作業の流れ-2

平面図



断面図



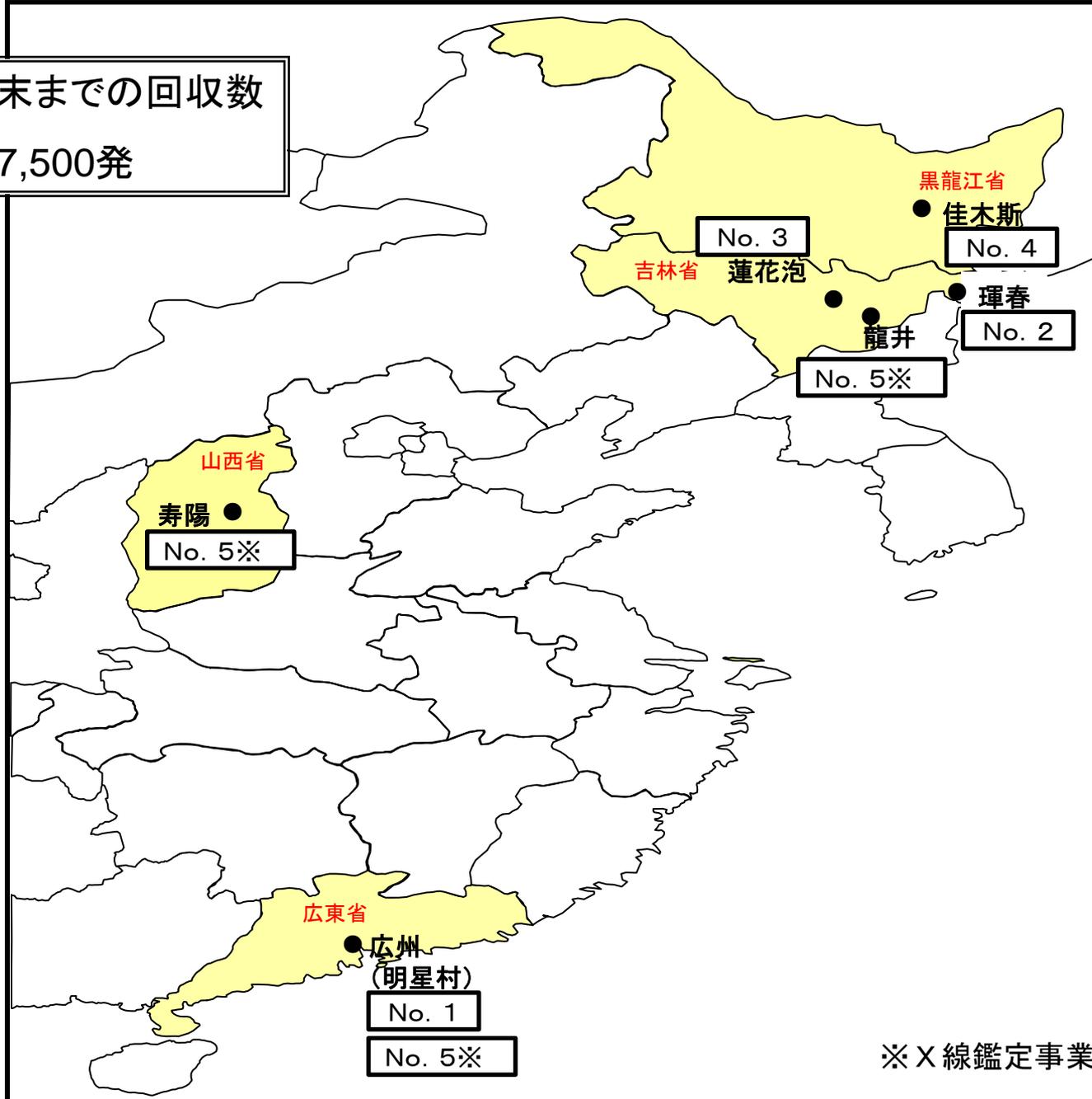
中国各地での発掘・回収事業について



平成24年10月11日(木)
第10回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

2012年度中国各地域の発掘・回収事業実施箇所

2012年9月末までの回収数
約47,500発



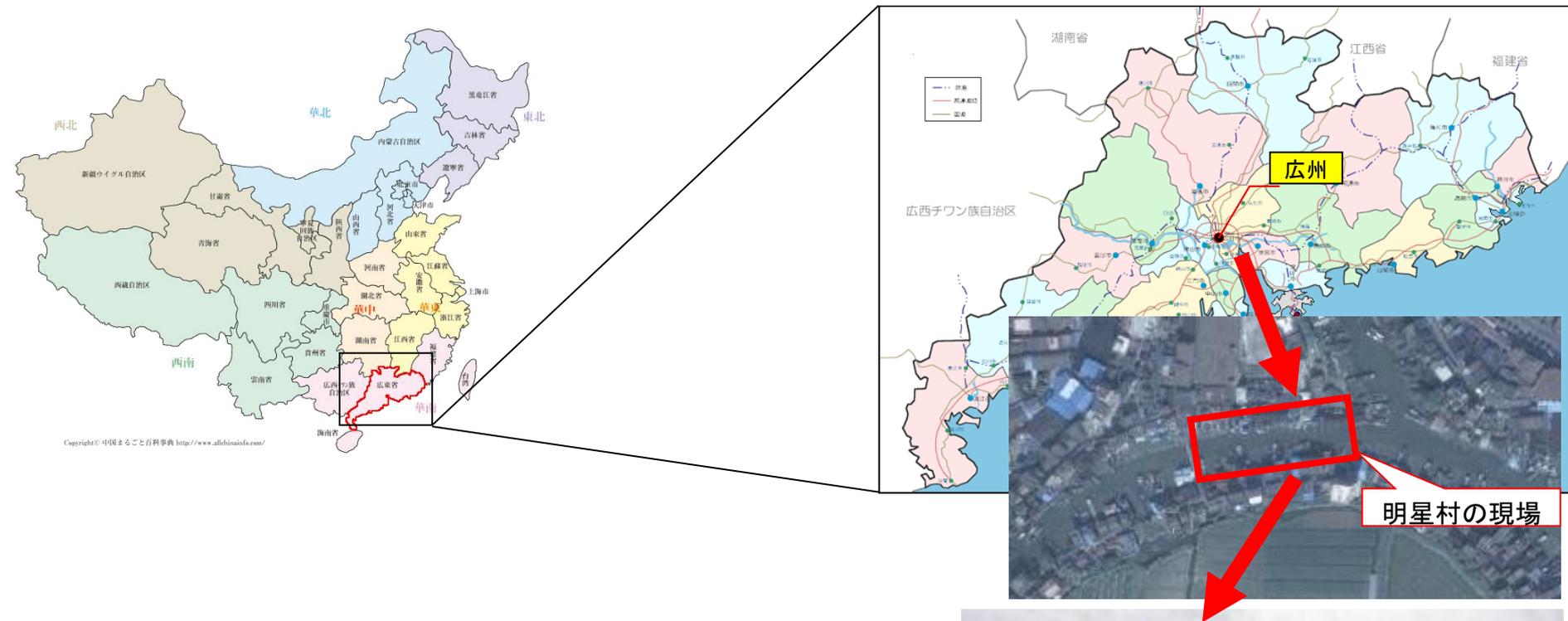
※ X線鑑定事業

2012年度中国各地域の発掘・回収事業実施予定

No.	年月 事業	2012年									2013年				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	広州市 (明星村)		 復旧工事												
2	琿春						 A地区(その1)								
3	蓮花泡	 居住地域(その5)			 道路(その1)			 道路(その2)							
4	佳木斯	 工事基本計画の検討													
5	X線鑑定			 北部(寿陽、龍井)											
【凡例】															
日中共同実施 :															
中国側へ依頼 :															

No.1

広州市(明星村)発掘・回収事業



発掘・回収事業

3月14日～4月30日

- 河床における発掘・回収
- 砲弾等33発を密封梱包

本事業は終了



No.1 広州市明星村現場



琿春市発掘・回収事業



発掘・回収事業 (A地域の一部)

8月30日～9月27日

● 砲弾等 171 発の密封梱包



来年度も同様に実施する。

発掘・回収対象地域



No.2 瑋春市現場



金属探査



金属反応点の発掘

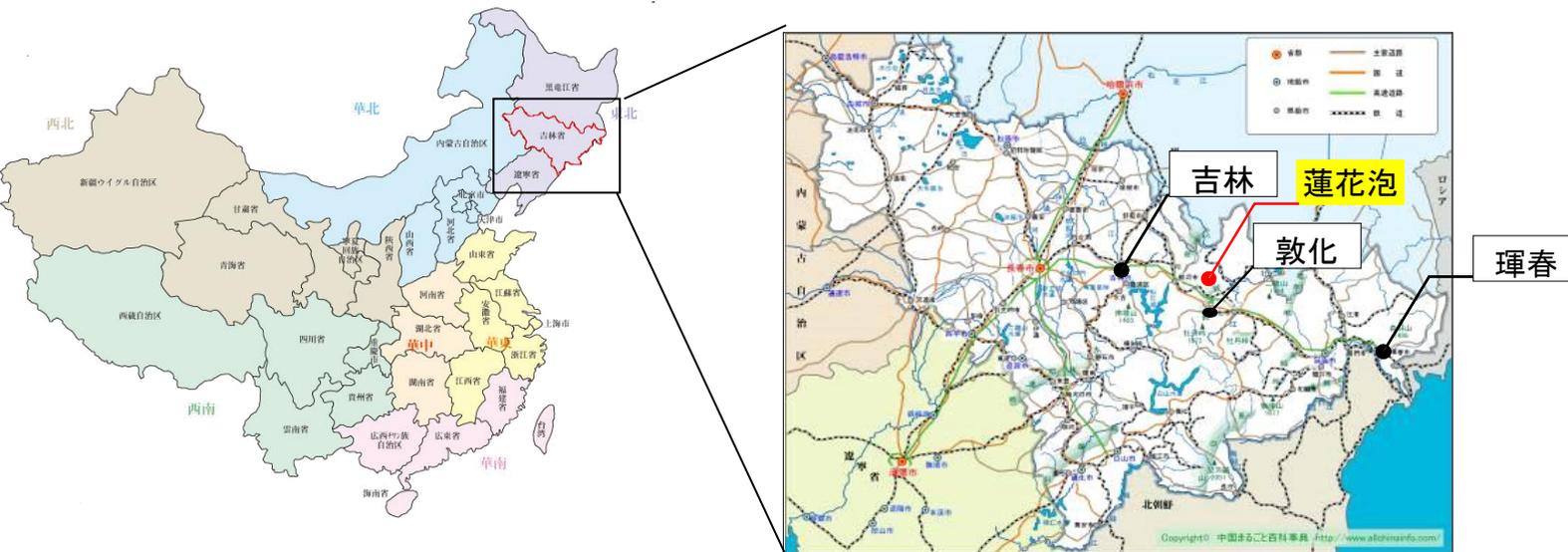


発掘した砲弾



砲弾の検知

敦化市(蓮花泡)発掘・回収事業



● 2005年より第1次事業を開始

今年度は以下の事業を実施

- 第11次事業: 4月16日～6月7日 (居住地域その5) 済
- 第12次事業: 6月14日～7月19日 (道路その1) 済
 7月26日～8月30日 (道路その2) 済
- 第13次事業: 10月7日～11月17日 (河川)



第13次事業 (河川) をもって蓮花泡事業を終了する予定

蓮花泡発掘・回収実施状況

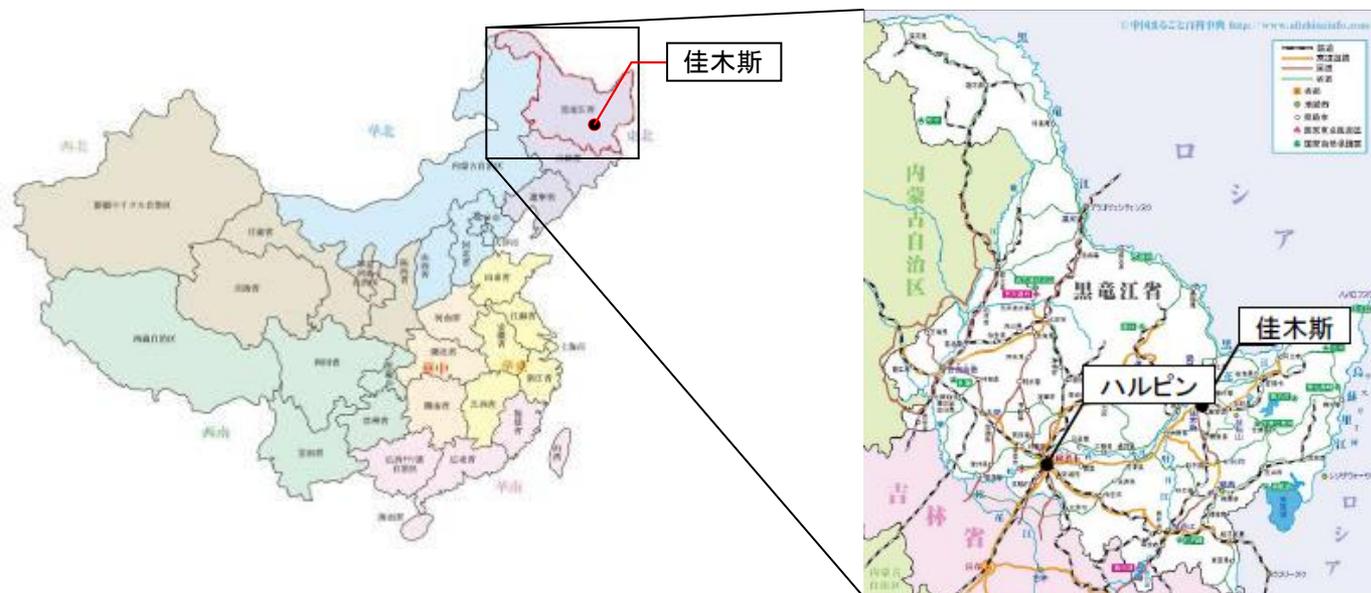


区分	実施年度
畑地	2005年度 2006年度 2008年度
林地	2007年度 2008年度 2009年度
畑地境界地帯	2010年度
草地	2009年度 2010年度
居住地域	2011年度
一部居住地域 河川・道路	2012年度

No.3 蓮花泡現場



佳木斯市事業



現場地図



1 現在の状況

- (1) 昨年11月に止水壁工事の工法検討に必要な地形、地質等の基礎情報調査を終了
- (2) 止水壁の工法を検討中
(透水性試験等の追加調査が必要)

2 今後の予定

次年度追加調査を実施して、止水壁の適用工法をさらに検討する。

回収事業(X線鑑定等)



北部回収事業(X線鑑定)(寿陽、龍井)

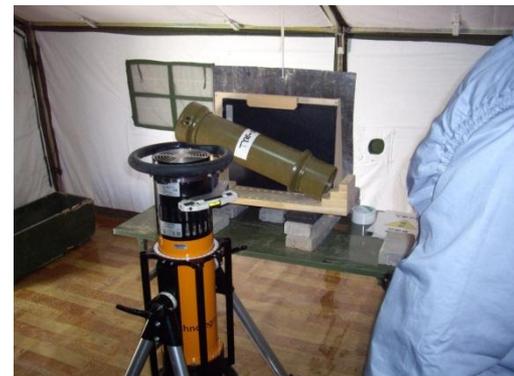
6月12日～7月21日

- 寿陽保管庫に保管されていた砲弾の内、再鑑定が必要な26発を鑑定
- 龍井保管庫に保管されている砲弾の内、X線鑑定が必要な740発を鑑定

南部回収事業(X線鑑定)(広州)

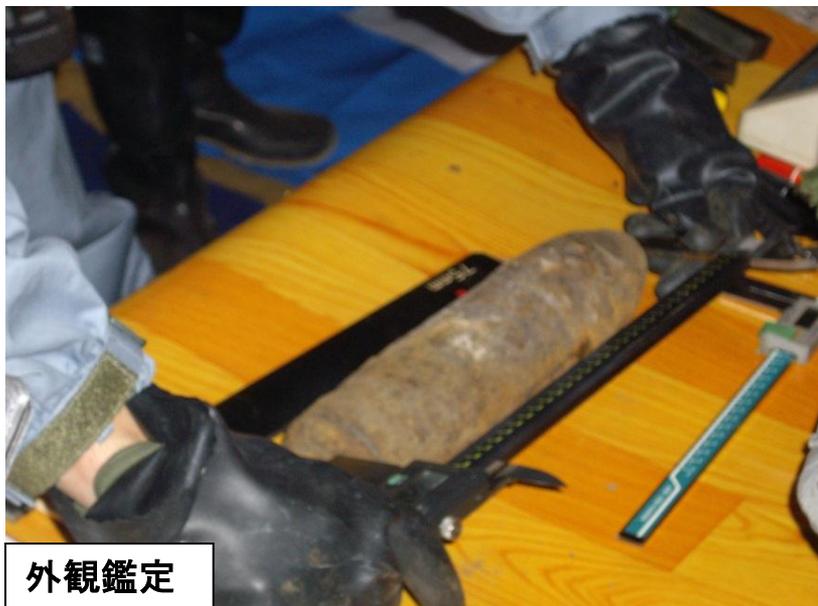
11月21日～12月14日

- 広州保管庫に保管されている79発を鑑定予定



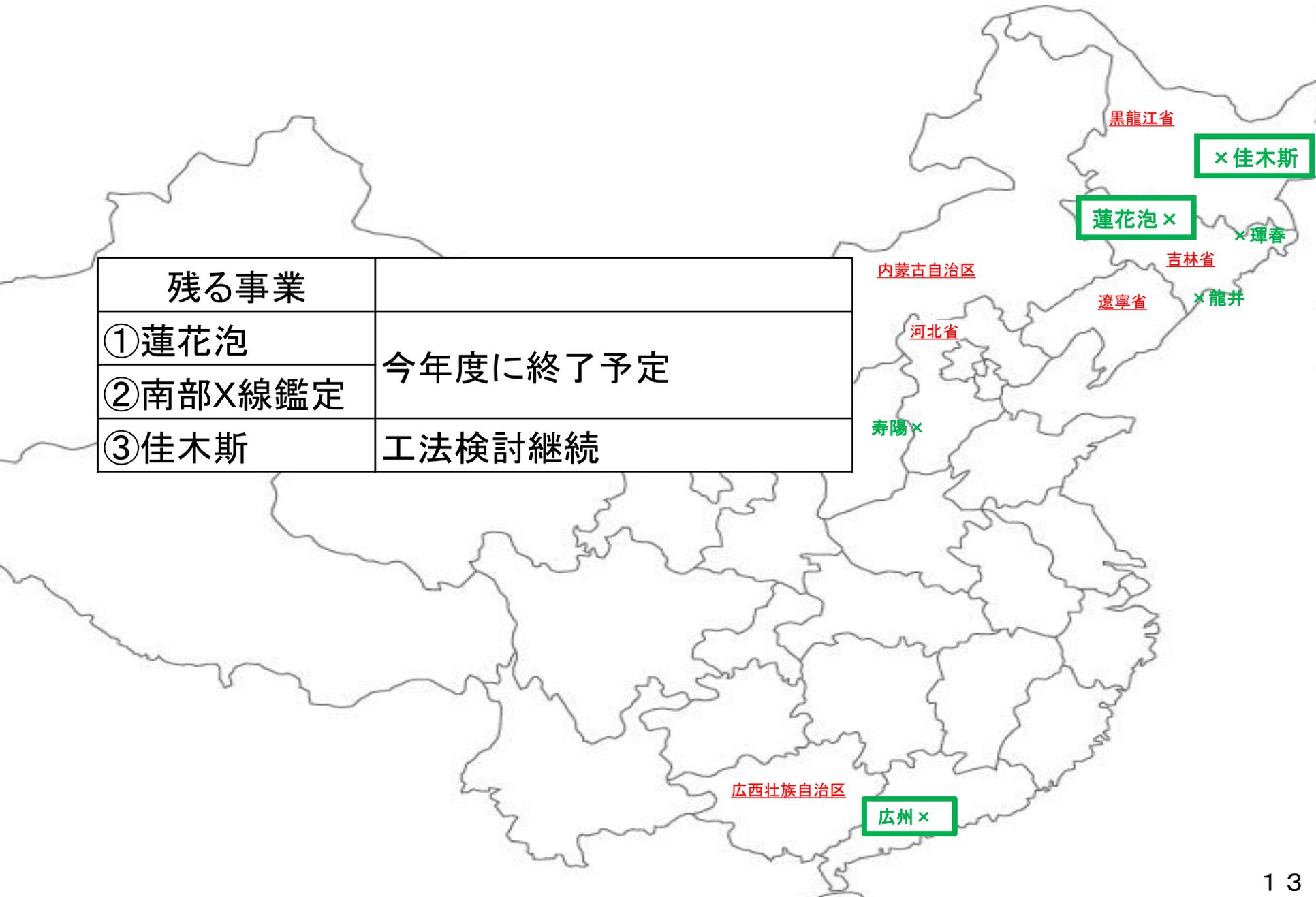
X線鑑定

No.5 X線鑑定現場

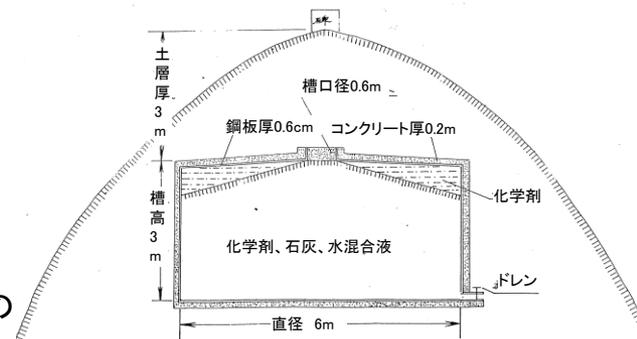
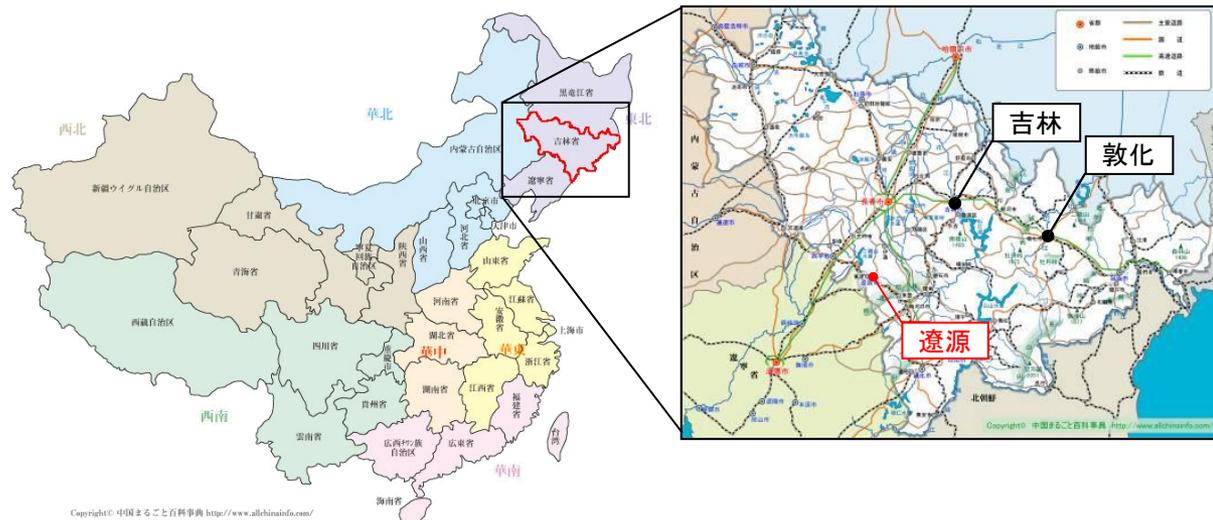


今後の予定

残る事業	
①蓮花泡	今年度に終了予定
②南部X線鑑定	
③佳木斯	工法検討継続



遼源市事業



1 概要

化学砲弾に由来する化学剤(マスタード、ルイサイト)が石灰、水との混合液の形で2基の貯液槽(各37トン)に保管されているもの。

2 経緯

(1)1995年及び2011年 外務省現地調査を実施

(2)2011年10月21日～11月6日 外務省調査において、内容物を分析した結果、当該貯液槽には旧日本軍のきい剤と思われる液体を確認。

3 現在の状況

空気浄化装置付のテントで貯液槽を覆って保管中



平成25年度遺棄化学兵器廃棄処理事業 に係る概算要求について



平成24年10月11日(木)
第10回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

平成25（2013）年度 遺棄化学兵器廃棄処理事業に係る概算要求のポイント

1 事業の進ちょく等を踏まえつつ、事業を進める上で必要な経費を要求

平成25(2013)年度要求額	平成24(2012)年度予算額	対前年度増減額	対前年度増減比率
24,020百万円	20,787百万円	+3,233百万円	+16%

※ 平成23(2011)年度 当初予算額 21,922百万円 執行額 18,112百万円

2 概算要求の主な内容

廃棄処理事業運営費	1,948百万円
業務委託等に必要な経費。	
ハルバ嶺事業等関連経費	10,017百万円
吉林省ハルバ嶺における発掘・回収及び試験廃棄処理設備の運転等に要する経費。	
その他各地事業関連経費	11,795百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・中国各地において発見される遺棄化学兵器の発掘・回収等に要する経費。 (吉林省琿春市、黒龍江省佳木斯市等) ・移動式処理設備による廃棄処理等に要する経費。 (南部:湖北省武漢等 北部:河北省石家荘等) 	

平成25（2013）年度 遺棄化学兵器廃棄処理事業に係る概算要求

（単位：千円）

	平成24(2012) 年度予算額	平成25(2013) 年度要求額	比較増△減額
廃棄処理事業運営費	1,696,478	1,947,828	+251,350
ハルバ嶺事業等関連経費	7,718,573	10,016,907	+2,298,334
その他各地事業関連経費	11,103,178	11,794,933	+691,755
事務費	268,768	260,232	△8,536
合 計	20,786,997	24,019,900	+3,232,903